

2015年度第2四半期決算 [IFRS]

2015年11月5日

三菱商事株式会社

（将来に関する記述等についてのご注意）

- 本資料で開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

（本資料における留意点について）

- 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。また、「資本」は、資本合計の内、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する持分の金額を表示しています。

2015年度第2四半期決算

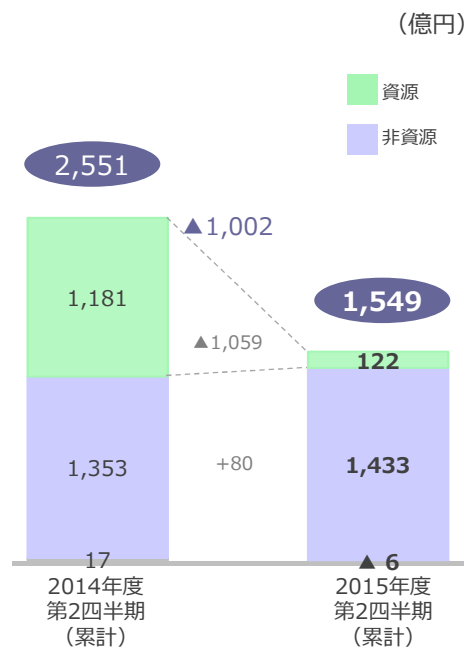
	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増減	2015年度 業績見通し <修正後>	修正後の 業績見通しに 対する進捗率
連結純利益	2,551億円	1,549億円	▲1,002億円	3,000億円	52%
資源	1,181億円	122億円	▲1,059億円	200億円	61%
非資源	1,353億円	1,433億円	80億円	2,760億円	52%
1株当たり配当額	30円*	25円	▲5円	50円	

* 60周年記念配当を除く

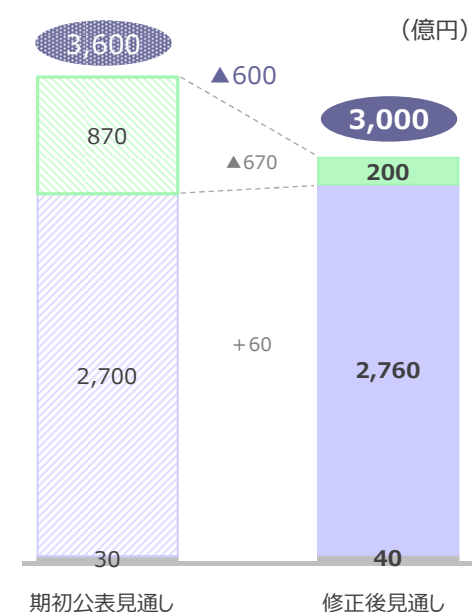
2015年度第2四半期決算 ハイライト

- ✓ 連結純利益は前年同期比▲1,002億円の減益。資源は市況悪化により▲1,059億円の減益。非資源は80億円の増益。
- ✓ 想定を超える資源価格の低迷を踏まえ、通期業績見通しを3,600億円から3,000億円に修正。
- ✓ 1株当たり配当見通しは、「経営戦略2015」の株主還元方針に基づき56円から50円に修正。

前年同期比



2015年度通期業績見通し

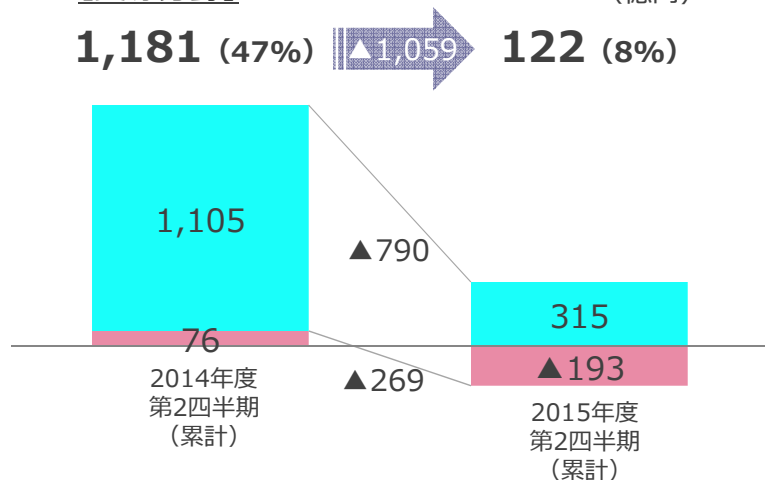


資源・非資源分野別セグメントの状況

【資源分野】

(億円)

1,181 (47%) \rightarrow 122 (8%)

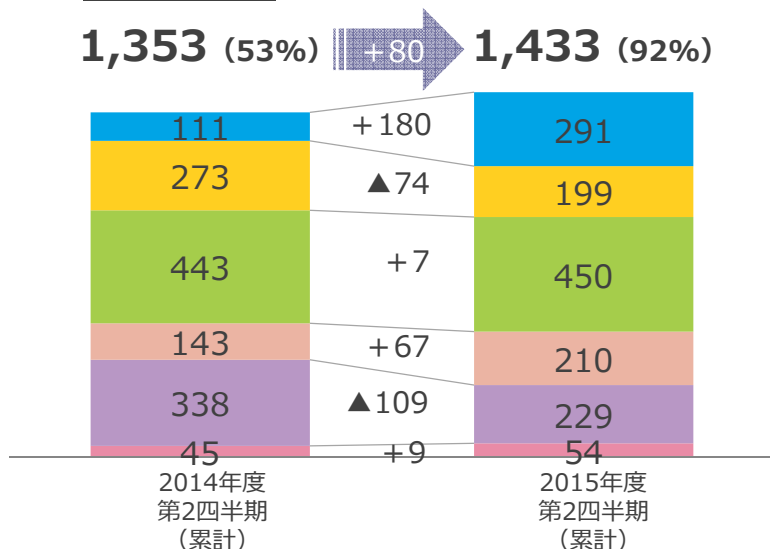


- エネルギー事業 (前年同期比 ▲71%減益)**
市況悪化に伴う資源関連投資先からの受取配当金や持分利益の減少など
- 金属 (資源分野)**
市況悪化に伴う資源関連投資先からの受取配当金や持分利益の減少など

【非資源分野】

(億円)

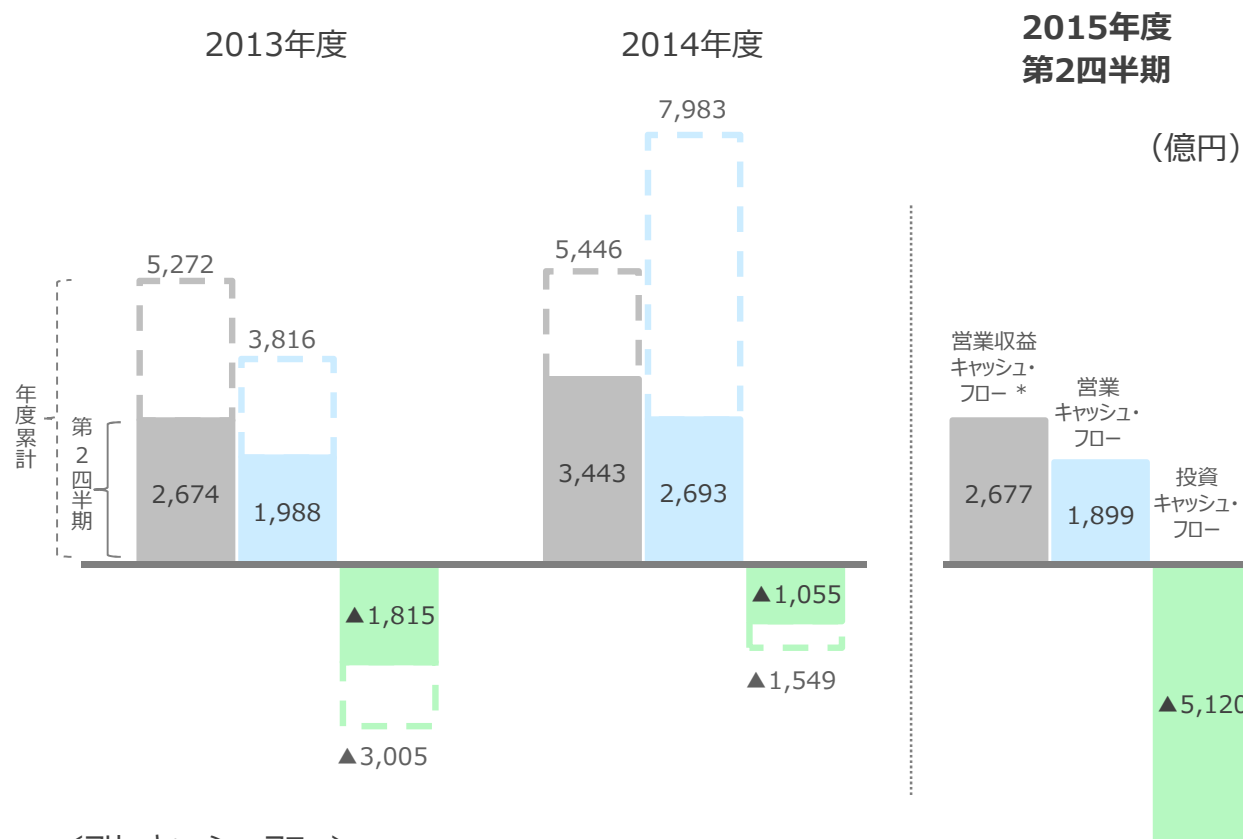
1,353 (53%) \rightarrow 1,433 (92%)



- 地球環境・インフラ事業 (前年同期比 +162%増益)**
北海油田における債務保証損失等引当金の振り戻しなど
- 新産業金融事業 (前年同期比 ▲27%減益)**
ファンド関連事業における持分利益の減少
- 機械 (前年同期比 +2%増益)**
-
- 化学品 (前年同期比 +47%増益)**
石化関連の取引利益・持分利益の増加、有価証券評価益など
- 生活産業 (前年同期比 ▲32%減益)**
鮭鱒養殖事業における市況低迷など
- 金属 (非資源分野) (前年同期比 +20%増益)**
-

※「金属」の内、鉄鋼製品事業に係る損益を非資源分野としてカウントしています。

キャッシュ・フローの推移



【キャッシュ・フローの状況】
2015年度第2四半期

- **営業キャッシュ・フロー (1,899億円)**
法人所得税の支払があったものの、営業収入・配当収入などにより資金増。営業収益キャッシュ・フロー*ベースでも順調に推移。
- **投資キャッシュ・フロー (▲5,120億円)**
Olam社への出資やエネルギー資源事業への投資などにより資金が減少。

＜フリーキャッシュ・フロー＞

第2四半期	173	1,638	▲3,221
年度累計	811	6,434	

* 営業収益キャッシュ・フロー：資産負債の増減の影響を控除した営業キャッシュ・フロー（連結純利益（非支配持分を含む）+減価償却費-投資活動関連損益-未配当の持分法損益）

新規投資・資産入替実績

(億円)		2013年度	2014年度	2015年度	2015年度第2四半期 の主な案件
		累計	累計	第2四半期	
新規投資	資源	3,300	2,200	2,300	LNG事業 豪州石炭事業
	非資源	4,700	5,400	4,200	農産物事業 インフラ事業 ファンド関連事業
	合計	8,000	7,600	6,500	
資産入替	資産売却※	5,100	5,200	1,500	貸付金の回収 航空機リース事業 船舶事業
	減価償却	1,700	2,000	1,000	—
	合計	6,800	7,200	2,500	
ネット投資額		1,200	400	4,000	

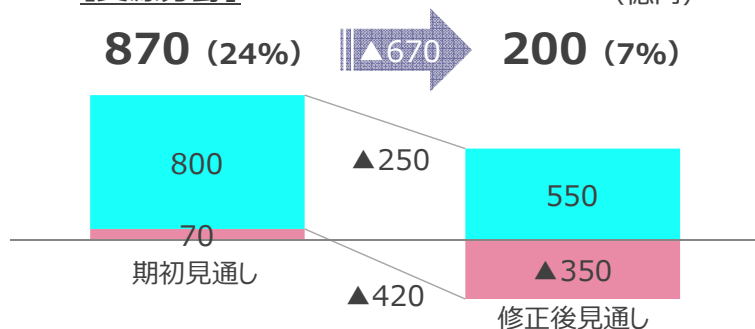
※「資産売却」の金額に、売却に伴い発生した売却損益は含まれていません。

資源・非資源分野別各セグメントの2015年度業績見通し

【資源分野】

(億円)

870 (24%) \rightarrow $\Delta 670$ 200 (7%)

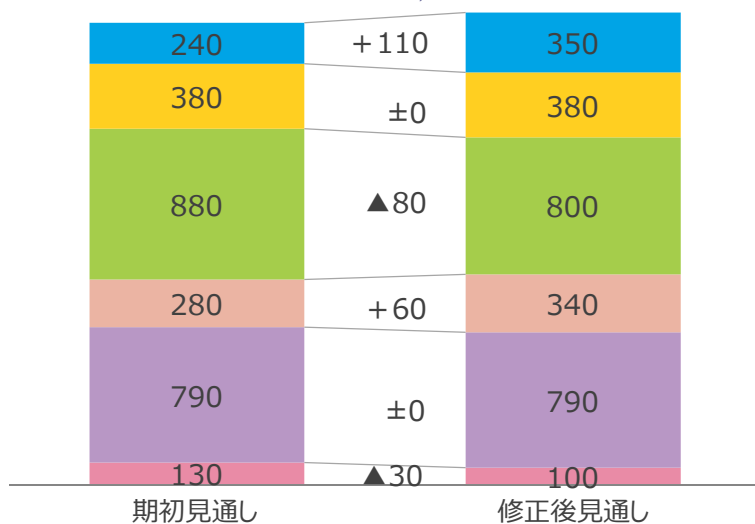


- **エネルギー事業**
原油・ガスの市況低迷の影響を織り込んだもの
- **金属 (資源分野)**
金属資源の市況低迷の影響を織り込んだもの

【非資源分野】

(億円)

2,700 (76%) \rightarrow $+60$ 2,760 (93%)



- **地球環境・インフラ事業**
北海油田案件における債務保証損失等引当金の振り戻しなど
- **新産業金融事業**
(変更なし)
- **機械**
アジア自動車関連事業の減速など
- **化学品**
石化製品の市況回復に伴う関連会社の持分利益増加など
- **生活産業**
(変更なし)
- **金属 (非資源分野)**
国内外の鋼材需要の減速及び市況の低迷の影響を織り込んだもの

※ 「金属」の内、鉄鋼製品事業に係る損益を非資源分野としてカウントしています。

【参考】市況の状況

【為替・商品市況・金利の状況】

	2015年度 業績見通し <期初見通し>	2015年度 業績見通し <修正後>	増減	2015年度 2Q実績	連結純利益に対する損益インパクト
為替 (円/US\$)	120.00	120.94	+0.94	121.87	1円円安（高）につき年間25億円の増益（減益）インパクト。
油価 (US\$/BBL) (ドバイ)	65	53	▲12	56	US\$1/BBL上昇（下落）につき年間15億円の増益（減益）インパクト。 但し、油価変動の販売価格への反映や連結会社との決算期の違いにより、連結業績に影響を及ぼすまでに3～9ヶ月程度の時間差が生じる。 さらに、油価以外にも配当性向、為替要因、生産・販売数量等の要因にも影響を受ける。
銅地金 (US\$/MT) [¢/lb]	6,173 [280]	5,600 [254]	▲573 [▲26]	5,653 [256]	US\$100/MT上昇（下落）につき年間14億円の増益（減益）インパクト。 但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画（設備投資）等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみで単純に決定されるものではない。
円金利 (%) TIBOR	0.20	0.19	▲0.01	0.17	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) LIBOR	0.50	0.40	▲0.10	0.30	